

えいらい

No.32



〒790-0067 愛媛県松山市大手町 2 丁目 6-5 TEL / 089-943-1151 FAX / 089-947-0026
発行責任者／院長 山本祐司 編集／松山市民病院広報委員会

地域に根ざした病院に 一多施設・多職種連携による 新たな信頼関係の構築を一



副院長 柚木 茂

今年4月から副院長を拝命しました、外科、手術センター長の柚木(ゆのき)です。皆様には日頃より松山市民病院の診療、運営面に多大なご支援、ご協力を頂き、心より感謝申し上げます。

松山市民病院は「高度急性期医療を目指す」、「地域社会に貢献する」、「地域住民のために存在する」病院を理念として挙げ、誠実で、人権を尊重し、安全、良質で学びつづける医療を基本方針としています。地域住民の皆様と関連医療機関の支援なくしては成り立たない病院です。

この理念と基本方針のもと、4月から5名の医師が採用となり(消化器内科、整形外科、眼科、泌尿器科、小児科、各1名)、研修医9名(基幹型4名、愛媛大学協力型5名)、看護師40名、薬剤師5名、臨床検査技師2名、管理栄養士1名が新たに加わりました。職員一同、一丸となってこれからも地域住民のために研鑽を積んでいきたいと思ひます。

今年6月からHigh Care Unit (HCU) が開設されました。これまでICUが満床の時は、併存疾患がある患者や術後合併症の可能性が高齢者も一般病棟での術後管理を余儀なくされていました。また、一般病棟で人工呼吸器管理など、重症管理をしている患者の急変時の対応が遅れる可能性が危惧されていました。

HCUの開設により、一般病棟の負担を軽減するとともに、より細やかな術後管理や重症管理ができるようになり、急変時の対応に、より安心していただくと考えています。

また、昨年7月より救急科を新設し、1

年が経過しました。高度急性期医療を目指す病院として救急輪番日以外にも救急対応が可能となりました。今まで以上に医療関連施設からの急患の受け入れが可能になったと思ひます。今後ともよろしくお願ひします。

松山市民病院は関連施設との連携に力を入れています。大学、医師会、行政機関などを訪問した際も施設間、職種間の緊密な連携が話題となることが増えました。

特に臓器別がんに対する集学的治療や腎不全・糖尿病などの合併症対応、脳・心血管疾患に対する救急・急性期医療など、多・他職種を交えた病診・病々連携が中予のみならず愛媛県全域に求められるようになりました。

開業医の先生方や救急輪番病院への人的支援を含めたさまざまな協力を通じて、より顔の見える連携を深めていきたいと思ひます。

今年の病院スローガン、「ビジョン、ミッション、リノベーション」が山本院長により掲げられています。リノベーションは既存のものに新たな価値をつける改造・改革を意味します。これから地域医療構想、地域包括ケアシステム、医療・介護同時改定、新専門医制度や働き方改革など、医療界を取り巻く環境があわただしく動いていくなかで、松山市民病院が地域に根ざした医療機関として、新たな価値を見出すべく信頼関係を構築できればと思ひます。そのため多施設・多職種連携に微力ながら尽力してまいります。

今後とも変わらぬご指導をよろしくお願ひいたします。